

# 図書館だより



No.187



2013(平成25)年9月4日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>



## 展示 いま、磐梯山ジオパークが面白い!

皆さんは「ジオパーク」という言葉をご存知ですか?ジオパークとは、その自然環境を構成する地質や地形、景観、動植物、文化や歴史、食べ物や温泉などをまるごと楽しもうという考え方です。

2011年9月5日、磐梯山地域が日本ジオパークに認定されました。今回の展示では、この磐梯山ジオパークを中心に紹介します。足元から宇宙へ、数十億年前から未来まで。知って、見て、体験して、ジオパークを楽しんでください!

- 期間: 2013年9月6日(金)~12月4日(水)
- 場所: 福島県立図書館 展示コーナー
- 協力: 磐梯山ジオパーク協議会・福島県立博物館・磐梯山噴火記念館

9月6日~9月8日の3日間だけ、「磐梯山噴火之図」の本物の絵図を展示します!

展示期間中はイベントも開催されます。あわせてお楽しみください!

### ★関連事業のご案内★

- ・ロビー展示「磐梯山の写真展」.....9月6日(金)~10月2日(水)
- ・ギャラリートーク(磐梯山噴火記念館副館長 佐藤公氏).....9月7日(土) 15:00~15:30
- ・ふくしまを知る講座「磐梯山とジオパーク」.....10月6日(日) 13:30~15:00
- ・こども向け科学講座 磐梯山を知ろう.....11月23日(土) 13:30~14:30

※展示・イベントに関するお問い合わせは、福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チームまで



### 小泉武夫 天下無敵の食談義 ~発酵食品魔法の力~

発酵学・食文化研究の第一人者で本県出身の小泉武夫氏の連続講演(福島民報社主催)第1回目が9月14日(土)に県立図書館講堂にて開催されます。これにあわせて本館では

#### 『食の探求者 小泉武夫氏の本』

と題した展示コーナーを設置しております。

展示期間: 2013年9月6日(金)~10月2日(水)

場 所: 地域資料コーナー

本館所蔵の本のリストも配布しております。

小泉節あふれる食の世界をご堪能ください!

### やさしい「地元学」講座

#### 「信夫山にみる福島地方の歴史と文化」

講師は福島県歴史の案内人の会会長の紺野義行氏です。

■日時: 2013年9月28日(土)

13:00~受付、13:30~講演

■場所: 福島県立図書館第一研修室

■定員: 50名(定員になり次第締切り)

聴講は無料。どなたでも受講できます。

受講申し込みは9月14日(土)まで受付。



「本と旅する 本を旅する」

2013年10月27日~11月9日は読書週間です。

本の世界へ。本と一緒に。秋の夜長を旅してみたいかがでしょう。

# 新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

## 人文・自然・社会

### 『今を生きるための現代詩』

渡邊 十絲子／著 講談社  
2013.5 911.5/7 135

難解な現代詩。でも、解釈しようとしなくて付き合ってみると、詩の美しさに触れられるかもしれません。一文字も削れない文章や音読ができない文章など、詩の世界には常識外れの言葉がたくさんあります。詩を読むには、意味は分からなくても問題ないのです。

本書は詩人である著者が、詩を夢中になって読んだ楽しさに溢れています。そんな著者が最後に述べる、「詩の役割」とはどんなものなのか。教科書以来、詩と疎遠になっている方におすすめの一冊です。

### 『幻の野蒜築港：明治初頭、東北開発の夢』

西脇千瀬／著 藤原書店  
601.12/ニ 122

大久保利通の主導で「世界に開かれる日本初近代港湾」とすべく開発されたのが、実はお隣り・宮城の野蒜港だということをご存じでしょうか。結果的には工事は未完成のまま中止されたのですが、その事の大きさにもかかわらず地元でもあまり語られてこなかったといいます。この本では、その一大事業を巡っての当時の人々の期待や逡巡を掘り起しています。「後進的なイメージ」を植え付けられてきた東北のこれからを考える材料のひとつとなりそうです。

### 『グローブ Trotter：世界漫遊家が歩いた明治ニッポン』

中野 明／著 朝日新聞出版  
2013.6 291.09/7 136

19世紀、ヨーロッパでは、交通機関の発達と低廉化によって旅行人口が増え、世界各地を頻りに旅する「グローブ Trotter（世界漫遊家）」と呼ばれる人々が生まれました。当時開国直後の日本にも、多数のグローブ Trotter が訪れていたのです。京都・鎌倉・長崎といった定番観光地を巡ったり、東北の奥地を冒険したり……。いったいどんな旅だったのか、そして旅行家達の目に、明治の日本はどう映ったのか。残された旅行記の数々を基に読み解きます。

## 児童・児童図書研究

### 『レオ・レオーニ 希望の絵本をつくる人』

松岡 希代子／著  
美術出版社 2013.7 J726.6/1

『あおくんときいろちゃん』『スイミー』など、世代を問わず、世界中の人々に愛され続ける絵本を生み出したレオ・レオーニ。日本でも数々の作品が紹介され、誰でも一度は目にしたことがあるかと思えます。著者によるインタビューや、1997年ボローニャで行った子ども向けワークショップの記録も交え、レオーニの人物像や創作の背景を追っていきます。優れた絵本作家であり、多才な芸術家でもあった彼の、アートや絵本、そして子どもたちへの思いが伺えます。

## 雑誌・新聞

自民党の圧勝で幕を下ろした7月の参議院選挙。今回の選挙で「憲法改正」が争点になったとまでは言えませんでした。次の選挙までに、様々な解釈や意見の出ている「憲法96条改正」と「憲法改正」についてじっくり考えてみませんか？

### \*「憲法96条「改正」をめぐって」

Z/320.5/J1『ジュリスト』2013年8月号

### \*「憲法を国民の手に - 96条改正はその第一歩」

Z/051/S30『正論』2013年8月号

### \*「私の憲法論」

Z/051/S31『新潮45』2013年8月号

### \*「憲法と死者 - あるいは、「読む」という創造」

Z/051/S1『世界』2013年8月号

### \*「憲法改正で歴史問題を終結させよ」

Z/051/V1『VOICE』2013年7月号

### \*「米知日派知識人が直言！憲法改正と靖国参拝で民主主義国家たれ」

Z/051/S30『正論』2013年9月号

### \*「田岡俊次がズバリ答える！軍事の「常識」「非常識」憲法改正が今年の焦点に自民党草案の問題点を検証」

Z/330.5/K14『経済界』48巻3号

## 地域

### 『福島市の昭和 写真アルバム』

いき出版

2013.6 L211/17/1

県内各市の写真を収録・解説したシリーズの福島市版が刊行されました。

“写真アルバム”とあるように、福島市の人びとや町並みの写真が約600枚収録されています。写真には地元専門家の解説も添えられており、見応え・読み応えのある写真集です。写真はどれも個人所蔵のものばかり。市民の目線で見た懐かしい昭和の福島市を、ぜひじっくりとご堪能ください。

### 『小泉武夫のほんとうに美味しい話 愛蔵特選』

小泉 武夫／著 海竜社  
2012.7 LA596/K1/25

9月14日から県内で連続講演が始まる小泉武夫氏が、19年以上にわたり日経新聞夕刊に連載しているエッセイ「食あれば楽あり」から101話を選びすぐった、まさにおいしいとこ取りの本書。「小泉造語」と呼ばれる独特の言い回しが食物の美味しさを巧みに表現しています。

古今東西様々な食を探求している小泉氏ですが、本書に収録されているのは誰もが食べたことのある食べ物ばかり。あの味この味をいかに美味しく食べるかレシピ本感覚でも読むことができるオススメの一冊。